

# 資 料

議案第101号

山陽小野田市中央福祉センターの指定管理者の指定について

- ① 指定管理者評価表
- ② 指定管理者選定委員会審査集計表
- ③ 募集要項
- ④ 仕様書
- ⑤ 審査基準表
- ⑥ 指定申請書及び事業計画書

# 指 定 管 理 者 評 価 表

施 設 名	山陽小野田市中央福祉センター					
指 定 管 理 者	社会福祉法人 山陽小野田市社会福祉協議会					
指 定 期 間	自	H27.4.1	至	H30.3.31	指 定 期 間	3.0 年
評 価 対 象 年 度	平成28年度			施 設 所 管 課	社会福祉課	
指 定 管 理 料	14,277,600 円		税込み	評 価 年 月 日	平成29年6月8日	
利 用 料 金 制 度	有			ア ン ケ ー ト	実施	
選 定 方 法	公募			単 独 指 定 回 数		

	項 目	評 価	コ メ ン ト 欄
管理運営の状況	開館日数及び開館時間は適切か	3	条例どおりの開館が行われている
	保守管理業務は適切に行われたか	3	適正に管理されている
	清掃業務は適切に行われたか	3	仕様書に従い、清掃が行われている
	保安警備業務は適切に行われたか	3	17時以降の人的警備、夜間の機械警備が適切に行われている
	外構や植栽等の管理は適切に行われたか	3	仕様書に従い、草刈及び植木剪定が行われている
	事故、苦情及び緊急時の対応は適切であったか	3	トラブルの初期対応は素早く十分な対応であった
	事故、苦情及び緊急時の市への連絡は適切であったか	3	トラブルに対して市と連携して対応することができた
	個人情報の管理は適切か	3	個人情報の管理は問題なく行われていた
	現金の管理は適切か	3	適正に管理されている
	減免申請に対する取り扱いは適正か	3	適正に取り扱っている
	修繕は適切に行われたか	3	修繕対応は十分に行われている
	各種報告書等は遅滞なく提出されたか	2	報告書の提出に何度か遅延が見られた
	人員配置等	人員配置は適切か	3
必要な有資格者は適切に配置されているか		3	施設維持管理者としてボイラー技師の免許を有する者を配置している
労働条件は適切か		3	適正に管理されている
職員の資質向上を図る取組(職員研修)は適切に行われたか		3	職員の施設管理に必要な法令研修に参加している
事業実施	事業計画どおりに事業が実施されたか	3	仕様書どおりの事業が実施された
	講座やイベントは満足できる内容であったか	2	集客増加のためのイベントの開催が少なかった
	施設の設置目的に沿った自主事業を行ったか	2	社会福祉施設として利用されている
サービス向上	アンケート等により利用者ニーズの把握に努めているか	3	利用者アンケートを実施し、来場者からの意見収集を行っている
	利用者の苦情・要望を反映させる取組を行っているか	3	第三者委員会の設置や苦情の受付の表示をしている
	接客態度は良いか	3	接遇研修を行い、接客向上に努めている
	HP等による広報活動は効果的に行われたか	3	自社のHP上で情報提供を更新している
	特定の利用者を有利又は不利に扱っていないか	3	市の条例どおり管理されている
	利用者の満足度は高いか	3	アンケートの結果のとおり、満足度は高い
	利用者サービスの向上を図る取組は行われたか	3	随時、施設内・外の点検及び補修を実施
状況用	利用状況はどうか(前年及び計画との比較)	/	別②に詳細を記入してください
	利用者増加のための取組をしたか	2	計画あるが、実施に向けての調整が必要である。
収支状況	収入の状況はどうか(前年及び計画との比較)	/	別③に詳細を記入してください
	支出の状況はどうか(前年及び計画との比較)	/	
	収支の状況はどうか(支出超過になっていないか)	/	
	収入増加の取組は行われたか	2	福祉関係団体の利用が多く、収入増加は望めない
	経費節減の取組は行われたか	3	節電・節水の啓発を常時行っている

小計 B2

別①(人員配置について)

平成28年度

山陽小野田市中央福祉センター

前年度	社会福祉協議会内に窓口を置き、施設維持管理担当者(常勤1名)、夜間及び日曜日管理人(業者委託1名)、清掃人(当番制2名)で管理運営している。
計画	社会福祉協議会内に窓口を置き、施設維持管理担当者(常勤1名)、夜間及び日曜日管理人(業者委託1名)、清掃人(当番制2名)で管理運営している。
実績	社会福祉協議会内に窓口を置き、施設維持管理担当者(常勤1名)、夜間及び日曜日管理人(業者委託1名)、清掃人(当番制2名)で管理運営している。

別②(利用状況について)

単位:人・件

内 訳	H26 実績	H27 実績	H28 計画	H28 実績
入浴	10,498	9,584	9,685	7,772
娯楽室・講堂・大広間・研修室・会議室	12,902	13,466	12,270	12,236
合 計	23,400	23,050	21,955	20,008

利用評価  
0

評価

備考

風呂業務について、施設の維持管理のため一時休業したことにより、利用者が減少

別③(収入状況)

単位:円

収 入	H26 実績	H27 実績	H28 計画	H28 実績
利用料金	1,677,580	1,034,920	828,000	938,750
指定管理料	14,204,571	14,277,600	14,277,000	14,277,600
分担金		320,000	320,000	320,000
その他		264,000	264,000	264,000
合 計	15,882,151	15,896,520	15,689,000	15,800,350

収入評価  
-

評価 できない

備考

別③(支出状況)

単位:円

支 出	H26 実績	H27 実績	H28 計画	H28 実績
人件費	3,035,315	3,355,532	3,186,000	3,276,682
需用費	16,113,695	12,594,932	11,353,000	10,887,388
その他	1,611,219			
合 計	20,760,229	15,950,464	14,539,000	14,164,070

支出評価	収入評価
3	4

評価

備考

総合評価  
91

特に評価される点	社協がセンター管理を受けていることで、貸館や浴場としてのセンター業務はもとより、行政や各種福祉団体及びボランティア団体との連携による地域福祉の拠点としての機能を十分に果たしている。
改善すべき点	アンケート調査の結果を基に、利用者ニーズに努めるよう指導した。
その他	社協の各種福祉サービス利用者のサービス利用促進とともにセンター業務の周知と利用促進を図ることができ、センター利用者が施設利用した際に福祉相談に乗ってもらえたり、福祉サービスへの要望や申請もしやすい形態となっており、今後できる限り設備等の維持に努めながらセンター管理を続けてほしい。

評価基準

基準	点数
該当なし	-
計画を大きく下回っている 期待する水準を大きく下回っている 達成度イメージ 60%未満	0
一部分を除き事業計画どおりである 一部分を除き期待する水準どおりである 達成度イメージ 60%～79%	1
ほぼ事業計画どおりである ほぼ期待する水準どおりである 達成度イメージ 80%～99%	2
事業計画どおりである 期待する水準どおりである 達成度イメージ 100%以上	3

利用状況及び収入状況について

基準	点数
該当なし	-
前年度実績 $\geq$ 実績 かつ 計画 $>$ 実績	0
前年度実績 $<$ 実績	1
計画 $\leq$ 実績	2
前年度実績 $<$ 実績 かつ 計画 $\leq$ 実績	3

支出状況について

基準	点数
該当なし	-
前年度実績 $\leq$ 実績 かつ 計画 $<$ 実績	0
前年度実績 $>$ 実績	1
計画 $\geq$ 実績	2
前年度実績 $>$ 実績 かつ 計画 $\geq$ 実績	3

収支状況について

利益率 = 収入実績 ÷ 支出実績

利益率	点数
0.6未満	0
0.6～0.7未満	1
0.7～0.9未満	2
0.9～1未満	3
1以上	4

# 【山陽小野田市中央福祉センター】指定管理者選定委員会 審査集計表

平成29年11月13日

申し込み団体 社会福祉法人山陽小野田市社会福祉協議会

審査項目	審査員 A	審査員 B	審査員 C	審査員 D	審査員 E	審査員 F		合 計	平均点	補正後 平均点
I 事業計画書等の内容が、市民の 平等な利用が確保されたものである か(11点満点)	9	10	10	8	8	9		54	9.0	9.0
II 事業計画書等の内容が、当該公 の施設の効用を最大限に発揮させ るものであるか(15点満点)	11	11	10	10	9	8		59	9.8	9.8
III 事業計画書等に沿った管理を安 定して行うために必要な人員、資産 その他経営規模及び能力を有してい るか、または確保できる見込みがあ るか(19点満点)	15	16	14	14	14	15		88	14.7	14.7
IV 事業計画書等の内容が、施設の 経費削減が図られたものであるか (5点満点)	1	2	1	1	1	2		8	1.3	1.0
<b>合 計 (50点満点)</b>	36	39	35	33	32	34		209	34.8	34.5

■審査基準表の審査項目は1～4のカテゴリーで大別しているが、審査において得点の分散値(異常値)を除外するため、各カテゴリー別の平均点の150%以上及び50%以下の得点を付した審査員の得点を除外して平均点を算出することとする。

## 山陽小野田市中央福祉センター指定管理者募集要項

山陽小野田市中央福祉センターの指定管理者を募集します。

### 1 対象施設の概要

#### (1) 名称

山陽小野田市中央福祉センター（以下、中央福祉センターという。）

#### (2) 所在地

山陽小野田市千代町一丁目2番28号

#### (3) 施設の設置目的、沿革、役割等

市民の福祉の増進及び市民生活の向上を図り、地域福祉増進に向けての拠点とするために設置した。

#### (4) 施設規模

- ①建築年度 昭和51年度竣工
- ②建物面積 1,651.19㎡
- ③建築構造 RC2F建て
- ④敷地面積 2,869.79㎡

（ただし、指定管理の範囲は建物面積及び敷地面積から山陽小野田市社会福祉協議会、ワークあけぼのおれんじ及び山陽小野田保護区保護司会の占有区域を除いたものとする。）

#### (5) 施設の主な内容

- 1F 娯楽研修室 (111.881㎡)  
浴室 (男性、女性各1室)
- 2F 大広間 (233.73㎡)  
講堂 (111.65㎡)  
研修室 (70.84㎡)  
会議室 (42.00㎡)

#### (6) 施設の利用状況 (平成28年度実績)

区分	利用者数 (人)	備考欄
娯楽研修室	2,552	
浴室	7,772	
講堂	4,219	

大広間	1, 2 3 2	
研修室	2, 5 4 3	
会議室	1, 6 9 0	

## 2 応募資格

次の要件を満たす法人その他団体であること。

- (1) 地方自治法施行令第167条の4の規定に該当しないこと。
- (2) 市から指名停止措置を受けていないこと。
- (3) 破産法（平成16年法律第75号）に基づく破産手続、民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく民事再生手続、会社更生法（平成15年法律第154号）に基づく会社再生手続又は会社法（平成17年法律第86号）に基づく特別清算の開始の申立てを受けていないこと、若しくは自ら申立てを行っていないこと、又はこれらの手続を行っていないこと。
- (4) 市税を滞納していないこと。
- (5) 社会福祉法人または、それに類する団体で社会福祉に関する知識や経験が豊富なこと。
- (6) 市内に主たる事業所を設置していること。
- (7) 施設の運営管理に必要な経済的基盤があること。
- (8) 山陽小野田市暴力団排除条例（平成23年山陽小野田市条例第18号）第2条に規定する暴力団、暴力団員及び暴力団員等に該当していないこと。
- (9) 共同体においては、その構成員のいずれもが、この公募において他の共同体の構成員又は他の応募者でないこと。

## 3 指定管理者が行う管理の基準

- (1) 関係法令及び例規の規定を遵守すること。
- (2) 施設設備及び物品の維持管理を適切に行うこと。
- (3) 施設管理に係る情報は市に準じた開示を行うこと。
- (4) 業務に関連して取得した利用者等の個人に関する情報を適切に取り扱うこと。

※管理の基準に関する細目的事項は、協議の上、協定で定めます。

#### 4 指定管理者の業務等

- (1) 中央福祉センターの維持管理に関する業務
- (2) 中央福祉センターの使用の許可に関する業務
- (3) その他、市長が必要と認める業務

#### 5 指定の期間

平成30年4月1日から平成33年3月31日までとする。

ただし、管理を継続することが適当でないとき、指定を取り消すことがあります。

#### 6 提出書類

申請に当たっては、以下の書類を市に提出していただきます。なお、市が必要と認める場合は、追加資料の提出を求めることがあります。

- (1) 指定管理者指定申請書（様式第1号）
- (2) 事業計画書
  - ①施設の管理運営方針
  - ②指定期間内の業務計画（年度ごと、全体）
  - ③指定期間内の収支計画（年度ごと、合計）
  - ④指定管理料（年度ごと、合計）

後に示す指定管理料の上限額を上回る額を提示した場合は審査対象から除外します。

- ⑤管理運営体制（組織・人員体制、勤務体制、雇用計画等）
- ⑥その他必要事項
- (3) 応募の資格及び要件に関する書類
- (4) 定款、寄附行為、規約、設置要綱その他これらに類する書類
- (5) 登記事項証明書（法人の場合）
- (6) 市税の滞納がないことを証明する書類

#### 7 利用料金及び指定管理料

##### (1) 利用料金

- ① 指定管理者は、施設の使用料等を利用料金として自らの収入として收受し、施設の管理運営に要する経費に充てるものとします。

- ② 利用料金の額及び減額又は免除については、山陽小野田市福祉センター条例によるものとします。

(平成28年度利用料金実績 938,750円)

(2) 指定管理料

- ① 利用料金のほかに、施設の管理運営に要する経費に充てるため、市は、指定管理者に対し、指定期間中に次の金額を限度として指定管理料を支払います。

指定管理料限度額 (消費税及び地方消費税の額を除く。)	各年度(単年度)分	12,320,000円
	3カ年合計	36,960,000円

別に消費税及び地方消費税の額を加算します。指定管理者の業務にかかる経費には、人件費、需用費、役務費、委託料、物件費(光熱水費、燃料費など)等が含まれています。ただし、中央福祉センターを占有している山陽小野田市社会福祉協議会、ワークあけぼのおれんじ及び山陽小野田保護区保護司会から中央福祉センターの物件費の一部負担として1年間に584,000円が支払われます。

内訳は下記のとおりです。

山陽小野田市社会福祉協議会 264,000円

ワークあけぼのおれんじ 260,000円

山陽小野田保護区保護司会 60,000円

なお、応募において指定管理料が限度額を上回ることはないようにして下さい。

- ② 指定管理料の額は、指定管理者の業務にかかる経費の支出見込額から利用料金等の収入見込額を差し引いた額とし、公募の際に指定管理者から提案のあった金額を基に、市と指定管理者の2者で締結する協定において定めます。
- ③ 指定管理料は、災害の発生など特別な場合を除き、原則として変更しません。また、指定管理者の経営努力により、生じた利益については、原則として指定管理者の利益とします。

## 8 質問事項の受付

応募要項の内容等に関する質問を次のとおり受け付けます。

### (1) 受付期間

平成29年10月2日(月)から平成29年10月10日(火)  
午前8時30分から午後5時15分まで

### (2) 受付方法

質問票に記入の上、社会福祉課にファックス、郵送又は電子メールで提出してください。直接提出以外の場合は着信確認を行ってください。

### (3) 回答方法

10月17日(火)に社会福祉課にて文書で回答します。  
再質問は17日当日に限り受け付けます。

## 9 申請書の提出先、提出方法及び提出期間

### (1) 提出先

山陽小野田市健康福祉部社会福祉課(市役所1階)  
〒756-8601 山陽小野田市日の出一丁目1番1号  
電話 0836-82-1174 ファックス 0836-81-5695

### (2) 提出方法

書留郵便又は持参

※上記以外の方法(普通郵便、電子メール、ファックス等)での提出は認めません。

### (3) 提出期間

平成29年10月2日(月)から平成29年10月31日(火)までの日(市の休日を除く)の午前8時30分から午後5時15分までとします。

### (4) 提出部数 正本1部及び副本10部

※書留郵送の場合、最終日の午後5時15分までに必着のこと。

市が必要と認める場合、追加資料の提出を求めることがあります。

また、受付期限を過ぎて申請書類の差替えを行うことは原則として認めません。

### (5) 辞退について

申請書提出後、選定委員会までに辞退する場合は、文書にて辞退届を市へ提出してください。

## 10 選定方法

指定管理者選定委員会において、各委員が選定基準に沿って、それぞれ審査した評点の合計が最も高い申請者を指定管理者候補として選定します。

### 【選定基準】

- I 市民の平等な利用が確保されること。
  - 1 施設の設置目的及び管理運営方針について
    - ①管理基準との整合性
    - ②団体の経営（運営）モラルの妥当性
  - 2 平等な利用を図るための具体的な手法及び期待される効果
    - ①実施事業の平等性
    - ②利用者ニーズに対する対応
    - ③利用者トラブルの未然防止及び対処方法
- II 施設の効用を最大限に発揮されること。
  - 1 利用者の増加を図るための具体的な手法及び期待される効果
    - ①広報活動やイベント等の内容及び実現性
    - ②地域・関係団体との連携
  - 2 サービス向上を図るための具体的な手法及び期待される効果
    - ①サービス向上策の内容と実現性
    - ②施設の活用策の内容と実現性
  - 3 施設の維持管理及び保守点検管理の内容、的確性
    - ①施設の管理方法
    - ②個人情報の保護対策及び情報開示
- III 管理を安定して行う能力を有していること。
  - 1 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性
    - ①収支計画の妥当性
  - 2 安定的な運営が可能となる人的能力
    - ①組織の配置人員の妥当性
    - ②職員の確保の妥当性
    - ③指導育成、研修体制の妥当性
    - ④緊急時の対応の妥当性
  - 3 安定的な運営が可能となる経理的基盤
    - ①団体の財政状況

②団体の活動状況

③類似施設の管理経験

IV 施設の経費削減が図られたものであること。

1 経費削減策、省エネ対策の内容

①維持管理経費の削減策と実現性

②指定期間中（3年）の提案数値

※選定委員会で審査した結果、施設の管理を行うに相当と認められるものがないと判断した場合は、改めて指定管理者の募集を行います。

1.1 申請に要する経費

申請に要する経費等はすべて申請者の負担とします。

1.2 無効又は失効

以下の事項に該当する場合は、無効又は失効となることがあります。

(1) 申請書の提出先、提出方法、提出期限が守られなかったとき

(2) 記載すべき事項の全部又は一部が記載されていないもの

(3) 申請書に記載すべき事項以外の内容が記載されているもの

(4) 虚偽の内容が記載されているもの

(5) その他、選定委員会で協議の結果、審査を行うに当たって不相当と認められるもの

1.3 選定委員会

平成29年11月13日（月）に実施します。（予定）

当日は、応募団体によるプレゼンテーション及びヒアリングを行いますので、出席方お願いします。

時間、場所、方法、手順等については後日連絡します。

1.4 選定結果

結果については、各申請者に文書で通知します。

1.5 指定管理者の決定及び指定管理料

(1) 指定管理者は山陽小野田市議会の議決を経て決定（指定）されます。

- (2) 議決後に市と指定管理者との間で協定を締結しますが、この協定の指定管理料は当該年度予算額以内となりますので、申請時に提出のあった指定管理料の提案価格を下回る場合があります。
- (3) 指定管理者の決定後に辞退する場合は、辞退により生じた市が受ける損害の全部又は一部について指定管理者が賠償するものとします。

#### 16 その他

- (1) 既定の様式は別添のとおりです。
- (2) 提出書類はお返ししません。
- (3) 提出された書類は、選定協議の目的で使用する場合に限り複写します。
- (4) 提出された書類は、情報公開の請求により開示する場合があります。

#### 問合せ先

山陽小野田市健康福祉部社会福祉課

電話 0836-82-1174

ファックス 0836-81-5695

電子メールアドレス

shakai@city.sanyo-onoda.lg.jp

## 管理業務仕様書

### 管理業務の範囲

- (1) 福祉センター使用申請の受付、使用料の徴収
- (2) 福祉センター内外の掃除
- (3) 浴室使用日における浴室の準備及び浴槽の湯加減の調節
- (4) 娯楽のための会館利用者に対する湯茶の準備
- (5) 火災予防及び盗難防止並びに災害発生時における会館利用者の避難誘導及び関係機関への通報
- (6) その他センター管理に関する事項  
施設及び備品の管理、電話の受付、緊急用連絡、消灯確認、戸締まり、文書の收受他

### 業務の時間

毎週（日、月、火、木、金、土曜日） 8：30～22：00

ただし、祝日、水曜日が祝日の場合翌日、8月15日、12月29日から1月3日までは除く。

掃除業務の基準は、概ね次のとおりとする。

- (1) 毎日実施するところ：玄関ホール、各室、便所、風呂（開設日）
- (2) 週1回以上実施するところ：倉庫、駐車場、前庭
- (3) 月1回以上実施するところ：窓ガラス拭き

リスク分担表

種類	内容	負担者	
		市	指定管理者
物価変動	人件費、物件費等物価変動に伴う経費の増		○
金利変動	金利の変動に伴う経費の増		○
周辺地域・住民及び施設利用者への対応	地域との協調		○
	施設管理、運營業務内容に対する住民及び施設利用者からの反対、訴訟、要望、苦情への対応		○
	上記以外	○	
法令の変更	施設管理、運営に影響を及ぼす法令変更	○	
	指定管理者に影響を及ぼす法令変更		○
税制度の変更	施設管理、運営に影響を及ぼす税制変更	○	
	一般的な税制変更		○
事業の中止・変更	市の指示、議会の不承認等による事業の中止・延期など（予算案の不承認、政策変更等）	○	
	上記以外の事由による事業の中止・延期など（不可抗力を除く）		○
業務内容の変更	市の指示による業務内容の変更によるもの	○	
	上記以外の要因による業務内容の変更		○
政治、行政的理由による事業変更	政治、行政的理由から、施設管理、運營業務の継続に支障が生じた場合、又は業務内容の変更を余儀なくされた場合の経費及びその後の維持管理経費における当該事情による増加経費負担	○	
不可抗力	不可抗力（暴風、豪雨、洪水、地震、落盤、火災、争乱、暴動その他市又は指定管理者のいずれの責めにも帰すことのできない自然的又は人為的な現象）に伴う、施設、設備の修復による経費の増加及び事業履行不能	○	
書類の誤り	仕様書等市が責任を持つ書類の誤りによるもの	○	
	事業計画書等指定管理者が提案した内容の誤りによるもの		○

資金調達	市の指定管理者に対する経費の支払い遅延によって生じた事由	○	
	指定管理者の業者に対する経費の支払い遅延によって生じた事由		○
施設・設備の損傷	経年劣化によるもので、1件500千円未満のもの		○
	経年劣化によるもので、上記以外のもの	○	
	第3者の行為から生じたもので相手が特定できないもの（1件500千円未満のもの）		○
	第3者の行為から生じたもので相手が特定できないもの（上記以外のもの）	○	
維持管理費	市の指示による維持管理費の増大	○	
	市の指示以外の要因による維持管理費の増大		○
許認可	事業実施にあたり市が取得すべき許認可の遅延・失効など	○	
	事業実施にあたり指定管理者が取得すべき許認可の遅延・失効など		○
資料等の損傷	管理者としての注意義務を怠ったことによるもの		○
	第三者の行為から生じたもので相手が特定できないもの（極めて小規模なもの）		○
	第三者の行為から生じたもので相手が特定できないもの（上記以外のもの）	○	
第三者への賠償	管理者としての注意義務を怠ったことにより損害を与えた場合 ※ただし、市が加入する「全国市長会市民総合賠償保険」の保険給付対象となる場合あり		○
	上記以外の理由により損害を与えた場合	○	
セキュリティ	警備不備による情報漏洩、犯罪発生		○
利用者数の変動	利用者の変動による収入の変動		○
事業評価	事業内容が市の要求する水準に達しない		○
事業終了時の費用	指定管理業務の期間が終了した場合又は期間途中における業務を廃止した場合における事業者の撤収費用		○

## 個人情報取扱特記事項

### (基本的事項)

第1 乙は、個人情報保護の重要性を認識し、この契約による業務の実施に当たっては、個人の権利利益を侵害することのないよう個人情報の取扱いを適正に行わなければならない。

### (秘密の保持)

第2 乙は、この契約による事務に関して知ることのできた個人情報を他に漏らしてはならない。この契約による業務が終了し、又はこの契約が解除された後においても同様とする。

### (再委託の禁止)

第3 乙は、この契約による事務を行うための個人情報の処理は、自ら行うものとし、やむを得ず他に再委託するときは、甲の承諾を得なければならない。

### (目的外収集・利用の禁止)

第4 乙は、この契約による事務を処理するため、個人情報を収集し、又は利用するときは、受託事務の目的の範囲内で行うものとする。

### (第三者への提供の禁止)

第5 乙は、この契約による事務を処理するために収集し、又は作成した個人情報が記録された資料等を、甲の承諾なしに第三者に提供してはならない。

### (複写、複製の禁止)

第6 乙は、この契約による事務を処理するため甲から提供を受けた個人情報が記録された資料等を、甲の承諾なしに複写、複製又はこれに類する行為をしてはならない。

### (適正管理)

第7 乙は、この契約による事務に関し知り得た個人情報の漏えい、滅失及び損傷の防止その他個人情報の保護の適切な管理のため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

2 乙は、この契約による業務に従事している者に対して、その在職中であると職を退いた後であるかを問わず、業務に関して知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならないことその他個人情報の保護に関し必要な事項を周知させなければならない。

(資料等の返還等)

第8 乙がこの契約による業務を処理するために、甲から提供を受け、又は乙自らが収集し、若しくは作成した個人情報記録された資料等は、この契約完了後直ちに甲に返還し、又は引き渡すものとする。ただし、甲が別に方法を示したときは当該方法によるものとする。

(事故の場合の措置)

第9 乙は、この契約に違反する事態が生じ、又は生ずるおそれがあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、甲の指示に従うものとする。

(損害賠償)

第10 乙が故意又は過失により個人情報を漏えいしたときは、乙はそれにより生じた損害を賠償しなければならない。

山陽小野田市中心福祉センター 指定管理者審査基準表

審査項目	審査基準	配点
I 事業計画書等の内容が、市民の平等な利用が確保されるものであるか。(11点満点)		
1. 施設の設置目的及び市が示した管理運営方針	1. 市が示した管理基準との整合性(3点満点)	
	<p>&lt;審査基準の要点&gt;                      ☆管理基準                      ①関係法令及び例規の規定を遵守すること。                      ②施設整備及び物品の維持管理を適切に行うこと。                      ③施設管理に係る情報は市に準じた開示を行うこと。                      ④業務に関連して取得した利用者等の個人に関する情報を適切に取り扱うこと。                      ※この内容が◎事業計画書「2管理運営方針(1)～(6)」やその他の添付資料に記載されているか、またはヒアリングで確認できるかで判断する。</p>	
	管理基準に関する記載があり、かつ内容が適切である。	3
	管理基準に関する記載がある。	2
	記載がないが、ヒアリングで確認できた。	1
	管理基準に関する考えがない。	0
	2. 団体の経営(運営)モラルの妥当性(2点満点)	
	<p>&lt;審査基準の要点&gt;                      ◎事業計画書「2管理運営方針(1)施設管理の方法」に關係法令を遵守することが記載されているか、またはヒアリングで確認できるかで判断する。</p>	
	詳細な記載があり、かつ妥当性が高い。	2
	記載がないが、ヒアリングで確認できた。	1
記載がない。妥当性に欠ける。	0	
2. 平等な利用を図るための具体的な手法及び期待される効果	1. 実施事業の平等性(2点満点)	
	<p>&lt;審査基準の要点&gt;                      ◎事業計画書「2管理運営方針(1)施設管理の方法、(4)利用者トラブルの防止及び対処(利用者の平等な利用の確保策を含む)」の記載内容を確認。また、ヒアリングで確認できるかで判断する。                      ①指定管理者が、公の施設の使用の許可権を有し、利用者の利用の公平性と平等を確保しなければならないことを認識しているかどうかを判断する。</p>	
	平等な利用を図るための具体的な記載があり、かつ実現性が高い。	2
	記載がないが、ヒアリングで確認できた。	1
	記載がない。妥当性に欠ける。平等な利用に対する考えがない。	0
	2. 利用者ニーズに対する対応(2点満点)	
	<p>&lt;審査基準の要点&gt;                      ◎事業計画書「2管理運営方針(6)その他」の記載内容を確認。                      ①利用者からのニーズにどう対処していくのかを判断する。                      ②具体的な施策があれば、その効果や経費等の内容について聞き、実現性があるかを判断する。</p>	
	利用者ニーズの把握に努め、積極的な対応も盛り込まれている。	2
	利用者からの直接的なニーズに対しては、対応が盛り込まれている。	1
	対応策がない。	0
3. 利用者トラブルの未然防止及び対処方法「定期的な安全点検の実施、事故発生の際の対処方法について」(2点満点)		
<p>&lt;審査基準の要点&gt;                      ◎事業計画書「2管理運営方針(4)利用者トラブルの防止及び対処」の記載内容の確認。                      ①利用者からのクレームへの対処                      ②事故防止対策                      ③事故発生時の対応                      についてどうするのかを審査する。また、記載がなければヒアリングで聞き、判断する。</p>		
詳細な記載があり、かつ実現性が高い。	2	
記載がないが、ヒアリングで確認できた。	1	
記載がない。対処方法を考えていない。	0	

審査項目	審査基準	配点	
<b>II 事業計画書等の内容が、当該公の施設の効用を最大限に発揮させるものであるか (15点満点)</b>			
1. 利用者の増加を図るための具体的な手法及び期待される効果	1 広報活動やイベント等の内容及び実現性 (2点満点)		
	<p>&lt;審査基準の要点&gt;            ◎事業計画書「2管理運営方針(3)サービス向上の方策」の記載内容の確認。            ①これらの活動が実現性のあるものかどうかをヒアリングを行いながら判断する。            ②具体的な内容が記載されていれば、事業内容、経費等を審査のうえ、実現性があるかどうかで判断する。</p>		
	詳細な記載があり、かつ実現性が高い。	2	
	記載がないが、ヒアリングで確認できた。	1	
	記載がない。対処方法を考えていない。	0	
	2 地域・関係団体との連携 (3点満点)		
<p>&lt;審査基準の要点&gt;            ◎事業計画書「2管理運営方針(1)～(3)」の記載内容の確認。            ①地域全体の活性化、利用増につながる施策を尋ねる。また、それが実現性があるかを判断する。</p>			
地域全体の活性化、利用増につながり、かつ実現性もあって大いに効果が期待できる。	3		
利用増が期待でき、実現性がある。	2		
実現性があるが、あまり効果は期待できない。	1		
取り組む姿勢が見られない。	0		
2. サービス向上を図るための具体的な手法及び期待される効果	1 サービス向上策の内容と実現性 (2点満点)		
	<p>&lt;審査基準の要点&gt;            ◎事業計画書「2管理運営方針(3)サービス向上の方策」の記載内容の確認。            ①利用者へのサービス向上に対する取組方法をヒアリングを行いながら審査する。</p>		
	利用者のサービスの向上につながる具体的な提案が複数なされ、かつ全てに実現性がある。	2	
	利用者のサービスの向上につながる具体的な提案がなされ、かつ実現性がある。	1	
	具体的な提案がない。	0	
	2 施設の活用策の内容と実現性 (3点満点)		
	<p>&lt;審査基準の要点&gt;            ◎事業計画書「2管理運営方針(3)サービス向上の方策」の記載内容の確認。            ①施設の活用策として、独創的な企画を持っているかをヒアリングする。また、それが山陽小野田市中央福祉センターの設置目的にそぐうものであり、実現可能なものかを判断する。</p>		
	独創的な企画力を持っており、施設の新たな活用が大いに期待でき、かつ実現性が高い。	3	
	独創的な企画力を持っており、施設の新たな活用ができ、かつ実現性が高い。	2	
	効果は期待できるが、実現性に乏しい。	1	
具体的な提案がない。	0		
3. 施設の維持管理及び保守点検管理の内容、的確性	1 施設の管理方法 (3点満点)		
	<p>&lt;審査基準の要点&gt;            ◎事業計画書「3管理運営体制」、またはその他添付資料の記載内容の確認。            ①人的管理…十分な職員体制であるか、防火管理者は置いているか、いなければどうするのか。平日、土、日の勤務体制が整えられているか。            ②機械警備…十分な体制であるか。</p>		
	詳細な記載があり、かつ十分な管理体制である。	3	
	記載があり、かつ十分な管理体制である。	2	
	記載はないが、ヒアリングで確認できた。	1	
	管理方法に対する考えがない。	0	
	2 プライバシーポリシー (個人情報の保護対策) 及び情報開示 (2点満点)		
	<p>&lt;審査基準の要点&gt;            ◎事業計画書「2管理運営方針(5)個人情報の保護措置」の記載内容の確認。            ①個人情報の保護対策についての考え方を尋ねる。            ②個人情報保護条例に基づくマニュアルを作成し、運用する準備があるかどうか。            ③個人情報保護対策に対する従事者への指導の考え方を確認する。</p>		
	指針の作成など、具体的かつ効果的な対策の記載がある。	2	
	記載はないが、ヒアリングで確認できた。	1	
記載がない。対処方法を考えていない。	0		

審査項目	審査基準	配点	
<b>Ⅲ 事業計画書等に沿った管理を安定して行うために必要な人員、資産その他の経営規模及び能力を有しているか、または確保できる見込みがあるか。(19点満点)</b>			
1. 収支計画の内容、適格性及び実現の可能性	<b>1 収支計画の妥当性(3点満点)</b> <審査基準の要点> ◎事業計画書「5 収支計画」の内容の確認。 ①過去の実績と比較して極端に過少な部分がなく、適正な収支になっているか。 ②利用増を目的とした事業費があれば、その内容を聞く。		
	事業計画に基づく綿密な積算を行っており、現実的。見積徴収など具体的な根拠を備えている。	3	
	過去の実績を参考に、事業計画に基づく積算を行っており、過少な部分が少なく、赤字の可能性が低い。	2	
	過去の実績は把握しているが、過少な部分があり、赤字の可能性が高い。 根拠もなく過少に積算し、実現性がない。	1 0	
2. 安定的な運営が可能となる人的能力	<b>1 組織の配置人員の妥当性(3点満点)</b> <審査基準の要点> ◎事業計画書「3 管理運営体制(1) 組織及び配置職員数」の記載内容の確認。 ①総括責任者や従事者の配置がなされているか。勤務時間が具体的に記載されているか。 ②従事者は専任か。勤務体制はどのようになっているか。専任の場合、当該従事者が休みの場合の対応はどうか。 ③統括責任者にはどのような人が配置予定であるか。		
	総括責任者及び従事者の配置が適正で、利用者数に応じてメリハリのある具体的な配置や勤務時間が記載されている。	3	
	総括責任者及び従事者の配置が適正に配置されている。	2	
	総括責任者や従事者の配置があいまいで、具体的な配置や勤務時間が記載されていない。	1	
	記載がない。	0	
	<b>2 職員の確保の妥当性(3点満点)</b> <審査基準の要点> ◎事業計画書「2 管理運営方針(1) 施設管理の方法」及び「3 管理運営体制(1) 組織及び配置職員数、(2) 職員の確保、(3) 雇用の予定」の記載内容の確認。 ①従事者に類似施設の管理あるいは運営に精通している常勤職員を配置予定か。記載がなければ内容について聞く。		
	従事者に類似職種に精通している職員を常勤として雇用し、適切に配置するなど円滑な運営を心がけている。	3	
	従事者に常勤職員を雇用し、適切に配置するなど円滑な運営を心がけている。	2	
	従事者の業務に対する精通具合や、配置など具体的な計画がない。	1	
	従事者に類似職種に精通している職員を雇用する予定がない。	0	
	<b>3 指導育成、研修体制の妥当性(2点満点)</b> <審査基準の要点> ◎事業計画書「3 管理運営体制(4) 職員研修の方針」の記載内容の確認。 ①接遇研修、管理運営に必要な研修を適切に行う計画があること。		
	研修計画の内容が的確で優れていて、かつ実現性が高い。	2	
具体的な研修計画が記載されていて、かつ実現性が高い。	1		
研修計画がない。	0		
<b>4 緊急時の対応の妥当性(2点満点)</b> <審査基準の要点> ◎事業計画書「2 管理運営方針(1) 施設管理の方法」及び「3 管理運営体制(5) 緊急時の連絡体制」の記載内容の確認。 ①施設内でのケガ、急病への対応や火災、地震等への対応が具体的に記載されているか。記載がなければ内容について聞く。 ②緊急時における市との連絡体制が記載されているか。			
緊急時の対応が具体的に記載され、かつ実現性が高い。	2		
緊急時の対応が記載され、かつ実現性が高い。	1		
緊急時の対応が妥当でない。	0		

審査項目	審査基準	配点		
3. 安定的な運営が可能となる経理的基盤	1 団体の財政状況 (2点満点)			
	<p>&lt;審査基準の要点&gt;</p> <p>◎添付書類(財務諸表及び納税証明)の審査。</p> <p>①市税の滞納がないこと。</p> <p>②債務超過でないこと。財務内容がわかりにくければ聞く。</p> <p>③リスクに耐える財力があるかどうか。</p>			
	適正な会計処理がされていて、債務超過がない団体で、リスクに耐える財力を持つ。	2		
	適正な会計処理がされている団体で、多少のリスクも耐える財力を持つ。	1		
	債務超過に陥って、経営が危うい。	0		
	2 団体の活動状況 (2点満点)			
	<p>&lt;審査基準の要点&gt;</p> <p>◎事業計画書「1 基本的事項」の記載内容の確認。</p> <p>①定款等が提出されているか。</p> <p>②過去からの活動実績があり、収支報告も適正になされているか。</p>			
	活動実績があり、定款等もあって、収支報告も適正になされている団体である。	2		
	過去の活動実績がない、または新たに設立された団体である。	1		
	定款等もなく、活動実績のない団体である。	0		
	3 類似施設の管理経験 (2点満点)			
	<p>&lt;審査基準の要点&gt;</p> <p>◎事業計画書「2 管理運営方針(1) 施設管理の方法」の記載内容の確認。添付書類の確認。</p> <p>①類似施設の管理実績があれば、具体的な施設名と経験年数の記載があること。施設名や年数の記載がなければ聞く。</p>			
過去2年以上、類似施設の管理実績がある団体である。	2			
過去1年以上、その他管理施設の管理実績がある団体である。	1			
上記の経験がない団体である。	0			
IV 事業計画書等の内容が、施設の経費節減が図られたものであるか (5点満点)				
1. 経費削減策、省エネ対策の内容	1 維持管理経費の削減策と実現性 (2点満点)			
	<p>&lt;審査基準の要点&gt;</p> <p>◎事業計画書「2 管理運営方針(1) 施設管理の方法」または「5 収支計画」の記載内容の確認。</p> <p>☆過去の実績と比べ、どのようにして経費削減を図っていくか。</p> <p>①創意工夫をもって全体的な経費の削減が図られているか。</p> <p>②必要な経費を落としていないか。</p> <p>③無理な削減をしていないか。</p>			
	創意工夫を持って全体的な経費の削減を図り、実現性も高い。	2		
	実現性は高いが、人件費抑制など特定の経費で削減を図っている。	1		
	経費削減の方法に根拠がなく、実現不可能。	0		
	2 指定期間中(3年)の提案数値 (3点満点)			
	<p>&lt;審査基準の要点&gt;</p> <p>◎事業計画書「5 収支計画 指定管理料」の金額について確認。</p> <p>☆指定期間中の指定管理料の金額がいくらかで判断。</p>			
	指定管理料が862万4000円以上985万6000円以下	3		
	指定管理料が985万6001円以上1108万8000円以下	2		
	指定管理料が1108万8001円以上1232万円未満	1		
指定管理料が上限額と同額	0			

得点合計	／50
------	-----

様式第1号

平成29年10月27日

山陽小野田市長 様

申請団体 所在地 山陽小野田市千代町一丁目2番28号  
名称 社会福祉法人  
山陽小野田市社会福祉協議会  
代表者の氏名 会長 森田 純  
電話番号 0836-81-0050

指定管理者指定申請書

指定管理者の指定を受けたいので、次のとおり申請します。

1 指定を受けようとする団体

名称 社会福祉法人 山陽小野田市社会福祉協議会  
事務所の所在地 山陽小野田市千代町一丁目2番28号

2 管理を行おうとする公の施設の名称

山陽小野田市中央福祉センター

3 添付書類

- 事業計画書
- 応募の資格及び要件に関する書類
- 定款、寄附行為、規約、設置要綱その他これらに類する書類
- 登記事項証明書
- 市税の滞納がないことを証明する書類
- 過去の指定実績がわかる書類
- 市長が必要と認める書類

( )

様式第2号

事業計画書

1 基本的事項

施設名	山陽小野田市中央福祉センター				
団体名	社会福祉法人 山陽小野田市社会福祉協議会		代表者	会長 森田 純一	
団体所在地	山陽小野田市千代町一丁目2番28号	設立年月日	平成17.3.22	従業員数	164人
電話番号	81-0050	FAX番号	81-0057	Eメール	sanyouonoda-syakyou@iris.ocn.ne.jp
主たる業務内容	福祉活動の拠点として、次の福祉事業等を実施 ・福祉の輪づくり運動の推進（福祉のまちづくり推進事業） ・地域生活支援事業（地域福祉権利擁護事業、法人成年後見人受任事業、総合相談事業、生活福祉資金等貸付事業他） ・施設運営の経営推進（障害福祉サービス事業所グリーンヒル山陽の設置経営） ・収益事業（山陽オートレース場売店事業） ・介護保険事業等の推進（居宅介護支援事業、訪問介護事業等） ・地域に開かれた社会参加事業の推進（障害者の自立支援による社会参加支援） ・その他、定款第2条に規定する事業				
団体の運営方針	本会は社会福祉法に基づいた地域福祉の推進を図ることを目的とする団体であり、地域住民の参加協力をはじめ、行政・福祉関係諸団体等との連携と協働をはかりながら、地域福祉事業及び施設運営の実施を通じて「住み慣れた地域で、誰もが安心して暮らし続けることができるまち」の実現をめざしています。				
経理状況	平成28年度決算書は別紙のとおり	類似施設運営実績の有無	有（41年）・無		

2 管理運営方針

(1) 施設管理の方法（危機管理マニュアルを含む）

社協の理念である、「誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる地域づくり」を実践するため、地域における福祉の拠点として以下の内容で管理運営する。

- ① 施設維持管理担当者を中心に、随時、施設内外の点検及び補修を実施
- ② 防火管理者を中心に、定期的（年2回）に消防訓練を実施
- ③ 担当者による草刈り及び植木剪定を実施
- ④ 利用者名簿の記録管理により、緊急時の対応を図る（個人情報の適正管理を行う）
- ⑤ 緊急時の安全対策  
 ‘さすまた’、‘蛍光クラックボール’を常備するとともに緊急ブザーを設置し、不審者侵入等の非常時に対応。また、定期的な救急救命講習会を実施し、設置されているAEDの使用方法をはじめとする救急救命技術を全職員が習得し、利用者が安全に利用できるよう職員の責任と自覚を促す。
- ⑥ 24時間体制の防犯対策  
 警備保障会社と契約を行い、夜間休日を含め24時間体制で館の防犯管理を行う。
- ⑦ すべての利用者に配慮した施設  
 障がい者（児）を含め、すべての利用者に配慮した、案内表示を館内に設置するとともに、山口障害者等専用駐車場利用証制度（パーキングパーミット制度）に則した施設として、利用証の発行を含め専用駐車場の適正な利用に取り組んでいる。

⑧ 設備点検及び環境美化

設備（消防設備、浄化槽等）の日常点検、法定点検を実施するとともに、施設内外の点検・補修・清掃を職員が日常的に実施し環境美化に努める。

防火管理維持台帳の管理

照明機器をLED化し、ランニングコストの低減と、照度の確保に努める。

風呂の衛生管理について

日・月は浴室消毒清掃

開設日は、レジオネラ属菌対策のため、水質管理を行う。

(2) 年間の事業実施計画

別紙1

(3) サービス向上の方策(広報、イベント、連携業務事業を含む)

① 社会福祉協議会との連携による高齢者生活相談等の受付、入浴受付業務、貸館受付業務、休憩室の無料開放、鍵付きロッカーの提供、生きがい対策として囲碁・将棋備品の貸出、社協広報誌によるセンター利用促進

② 職員の資質向上

効果的なOJTの実践と積極的な外部研修の参加により、継続的に職員の資質向上に努め地域のニーズに柔軟な対応ができる体制を整える。

③ アンケート調査の実施

利用者ニーズの把握と効果的な指定管理運営のため、年1回アンケート調査を実施

(4) 利用者トラブルの防止及び対処(利用者の平等な利用の確保策を含む)

① 社協との連携

社会福祉協議会との協力体制により相談対応を行う。

貸館受付時に駐車場の確保調整を行う。

② 苦情対策対応ガイドラインの適用

本会に中央福祉センターに関する苦情受付担当者並びに総括する担当職員を配置し、トラブルの防止及び対処を行う。また、トラブル発生時には、本会の「苦情解決規程」に従うとともに「事故・事件・苦情対策対応ガイドライン」により迅速に対処する。

なお、担当において判断が困難な場合は、本会設置の第三者委員による協議を行い公平・公正に対処する。

(5) 個人情報の保護措置

① 個人情報保護規程の適用

本会で運用している個人情報保護規程により個人情報保護管理者及び個人情報保護担当者を定め、適切に個人情報を保護・管理する。

② 職員教育

市社協役員研修会等において個人情報の保護の徹底を行う。

③ 鍵付き無料ロッカーの提供

(6) その他(利用者ニーズの把握、地域・類似団体連携の推進等)

① 安心して暮らすことができる地域づくり

地区社協、ボランティア等の地域活動推進を目的とする団体への援助支援

社会福祉協議会との連携による福祉団体の施設利用時の減免手続事務及び車いす等貸出事務

意見箱及び福祉相談窓口の設置・やまぐち障害者等専用駐車場利用証制度(パーキングパーミ

ット) 交付

② 情報公開

本会の情報公開規程に基づき、透明性のある運営に努める。

3 管理運営体制

(1) 組織及び配置職員体制 (別表)

社会福祉協議会本所内に窓口を置く

施設維持管理担当者(常勤1名)、清掃人(1名と1団体間との当番制) 経理・事務担当(兼務1名) 夜間、日曜日管理 (株)セキユア24に委託

(2) 職員(資格者等を含む)の確保

施設用大型空調機や入浴施設用温水ヒーター等の維持管理が伴うため、施設維持管理担当者には、ボイラーや電気関係等に詳しい職員を配置するよう努める。

(3) 雇用の予定

欠員が生じた場合、職業安定所の求人を通じ雇用確保に努めている。

(4) 職員研修の方針

- ・施設維持管理担当者として、防火管理者等法令上必要な資格取得及び研修会に出席
- ・職員教育訓練受講料助成要綱に基づき、職員の資格取得に対する意欲を喚起するための受講料一部助成を実施
- ・市社協役職員研修会を企画し自主研鑽に努める

(5) 緊急時の連絡体制

- ・市社協職員連絡網を確立し緊急時に対応
- ・天災時の運営については、行政と連絡調整のうえ対応
- ・緊急避難場所としての受け入れ対応

4. 利用計画(平成30年4月1日から平成33年3月31日まで)

単位:人

区分	30年度	31年度	32年度	年度	年度	計
講堂	4,200	4,200	4,200			12,600
研修室	2,500	2,500	2,500			7,500
会議室	1,700	1,700	1,700			5,100
大広間	1,200	1,200	1,200			3,600
娯楽研修室	2,500	2,500	2,500			7,500

5. 収支計画（平成30年4月1日から平成33年3月31日まで）（外税） 単位：千円

区分		30年度	31年度	32年度	計	
項目	内訳					
収入	指定管理料	12,320	12,320	12,320	36,960	
	利用料	会館使用料	180	180	180	540
		使用料収入	815	815	815	2,445
	分担金収入	584	584	584	1,752	
	合計	13,899	13,899	13,899	41,697	
支出	人件費	3,708	3,708	3,708	11,124	
	事務費	福利厚生費	12	12	12	36
		消耗品費	150	150	150	450
		印刷製本費	74	74	74	222
		光熱水費他	4,800	4,800	4,800	14,400
		修繕費	627	627	627	1,881
		通信費	61	61	61	183
		業務委託費	3,527	3,527	3,527	10,581
		租税公課	30	30	30	90
		雑費他	910	910	910	2,730
		合計	13,899	13,899	13,899	41,697

※収支が赤字となる場合はその補てん方法を明記すること

2. 管理運営方針

(平成30年4月1日から平成33年3月31日まで：単年)

(2) 年間の事業実施計画

- 休館日 毎週水曜日、祝日（水曜日が祝日の時は、翌木曜日）、8/15、年末年始（12/29～1/3）
- 利用時間 9:00～17:00（夜間利用がある場合、22:00まで）
- 利用区分 講堂、研修室、会議室、大広間、娯楽研修室（17:00～22:00）
- センター業務
  - ①維持管理業務
  - ②入浴受付業務
  - ③貸館受付業務
  - ④休憩室の無料開放
  - ⑤いきがい対策として囲碁・将棋備品等の貸出
- センター機能
  - ①社会福祉協議会との連携による地区社協やボランティア等の地域活動推進を目的とする団体への援助支援
  - ②社会福祉協議会との連携による福祉団体の施設利用時の減免手続事務及び車椅子等の貸出事務
  - ③社会福祉協議会との連携による高齢者生活相談等の受付、緊急時に備え、職員数の7割が普通救命講習を受講
  - ④社会福祉協議会が主催する各種ボランティア住民福祉講座に会場提供
  - ⑤行政及び社会福祉協議会との連携による緊急避難場所としての受入対応
  - ⑥その他

## 法人単位資金収支計算書

(自)平成28年04月01日 (至)平成29年03月31日

法人：社会福祉法人 山陽小野田市社会福祉協議会

事業：法人全体

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A-B)	備考	
事業活動による収入	会費収入	9,344,000	9,483,400	△139,400		
	分担金収入	320,000	320,000	0		
	寄附金収入	12,165,000	13,030,750	△865,750		
	経常経費補助金収入	65,391,000	65,332,123	58,877		
	受託金収入	168,419,000	159,007,765	9,411,235		
	貸付事業収入	500,000	202,000	298,000		
	事業収入	25,893,000	26,339,886	△446,886		
	負担金収入	6,605,000	6,648,600	△43,600		
	介護保険事業収入	33,175,000	32,778,940	396,060		
	就労支援事業収入	6,537,000	6,801,311	△264,311		
	障害福祉サービス等事業収入	82,543,000	82,464,320	78,680		
	受取利息配当金収入	177,000	130,148	46,852		
	その他の収入	1,935,000	1,978,595	△43,595		
	事業活動収入計(1)	413,004,000	404,517,838	8,486,162		
事業活動による支出	人件費支出	269,119,000	258,278,313	10,840,687		
	事業費支出	51,833,049	47,657,413	4,175,636		
	事務費支出	52,662,000	49,716,580	2,945,420		
	就労支援事業支出	7,690,000	7,898,571	△208,571		
	貸付事業支出	500,000	178,500	321,500		
	助成金支出	1,581,000	1,581,000	0		
	その他の支出	1,000	0	1,000		
	事業活動支出計(2)	383,386,049	365,310,377	18,075,672		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	29,617,951	39,207,461	△9,589,510			
施設整備等による収入	施設整備等寄附金収入	987,000	987,000	0		
	施設整備等収入計(4)	987,000	987,000	0		
	施設整備等による支出	固定資産取得支出	8,265,218	7,276,158	989,060	
		施設整備等支出計(5)	8,265,218	7,276,158	989,060	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△7,278,218	△6,289,158	△989,060			
その他の活動による収入	積立資産取崩収入	501,000	500,000	1,000		
	その他の活動による収入	1,000	0	1,000		
	その他の活動収入計(7)	502,000	500,000	2,000		
	その他の活動による支出	基金積立資産支出	40,000	40,460	△460	
		積立資産支出	10,509,000	10,516,348	△7,348	
		その他の活動による支出	577,000	573,585	3,415	
その他の活動支出計(8)	11,126,000	11,130,393	△4,393			
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△10,624,000	△10,630,393	6,393			
予備費支出(10)	0	0	0			
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	11,715,733	22,287,910	△10,572,177			
前期末支払資金残高(12)	126,684,810	126,684,810	0			
当期末支払資金残高(11)+(12)	138,400,543	148,972,720	△10,572,177			

法人単位事業活動計算書

(自)平成28年04月01日 (至)平成29年03月31日

法人：社会福祉法人 山陽小野田市社会福祉協議会  
事業：法人全体

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	会費収益	9,483,400	9,478,900	4,500
	分担金収益	320,000	320,000	0
	寄附金収益	13,030,750	12,678,162	352,588
	経常経費補助金収益	65,332,123	67,323,655	△1,991,532
	受託金収益	159,007,765	152,956,753	6,051,012
	事業収益	26,339,886	32,893,474	△6,553,588
	負担金収益	6,648,600	6,344,500	304,100
	介護保険事業収益	32,778,940	33,234,950	△456,010
	就労支援事業収益	6,801,311	6,886,377	△85,066
	障害福祉サービス等事業収益	82,464,320	74,781,400	7,682,920
	その他の収益	1,523,492	10,113,043	△8,589,551
	サービス活動収益計(1)	403,730,587	407,011,214	△3,280,627
	費用			
人件費	266,307,858	271,115,882	△4,808,024	
事業費	47,657,413	50,477,573	△2,820,160	
事務費	49,716,580	54,389,458	△4,672,878	
就労支援事業費用	7,898,571	7,626,397	272,174	
助成金費用	1,581,000	1,613,000	△32,000	
基金組入額	40,460	4,040,264	△3,999,804	
減価償却費	12,307,929	12,643,853	△335,924	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△5,869,152	△6,406,032	536,880	
徴収不能額	0	513,000	△513,000	
その他の費用	0	41,420	△41,420	
サービス活動費用計(2)	379,640,659	396,054,815	△16,414,156	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	24,089,928	10,956,399	13,133,529	
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	130,148	148,670	△18,522
	その他のサービス活動外収益	455,103	390,457	64,646
サービス活動外収益計(4)	585,251	539,127	46,124	
費用				
サービス活動外費用計(5)	0	0	0	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	585,251	539,127	46,124	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	24,675,179	11,495,526	13,179,653	
特別増減の部	収益			
	施設整備等寄附金収益	987,000	0	987,000
	固定資産売却益	0	350,000	△350,000
	特別収益計(8)	987,000	350,000	637,000
	費用			
	固定資産売却損・処分損	11,986,723	6	11,986,717
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	△11,986,719	△6,881	△11,979,838	
その他の特別損失	17,057,494	0	17,057,494	
特別費用計(9)	17,057,498	△6,875	17,064,373	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△16,070,498	356,875	△16,427,373	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	8,604,681	11,852,401	△3,247,720	
繰越	前期繰越活動増減差額(12)	141,945,896	136,311,866	5,634,030

## 法人単位事業活動計算書

(自)平成28年04月01日 (至)平成29年03月31日

法人：社会福祉法人 山陽小野田市社会福祉協議会

事業：法人全体

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
活動 増減 の部	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	150,550,577	148,164,267	2,386,310
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	基金取崩額(15)	47,073,000	0	47,073,000
	その他の積立金取崩額(16)	500,000	3,115,956	△2,615,956
	その他の積立金積立額(17)	5,013,268	9,334,327	△4,321,059
	次期繰越活動増減差額(18)=(13)+(14)+(15)+(16)-(17)	193,110,309	141,945,896	51,164,413

法人単位貸借対照表

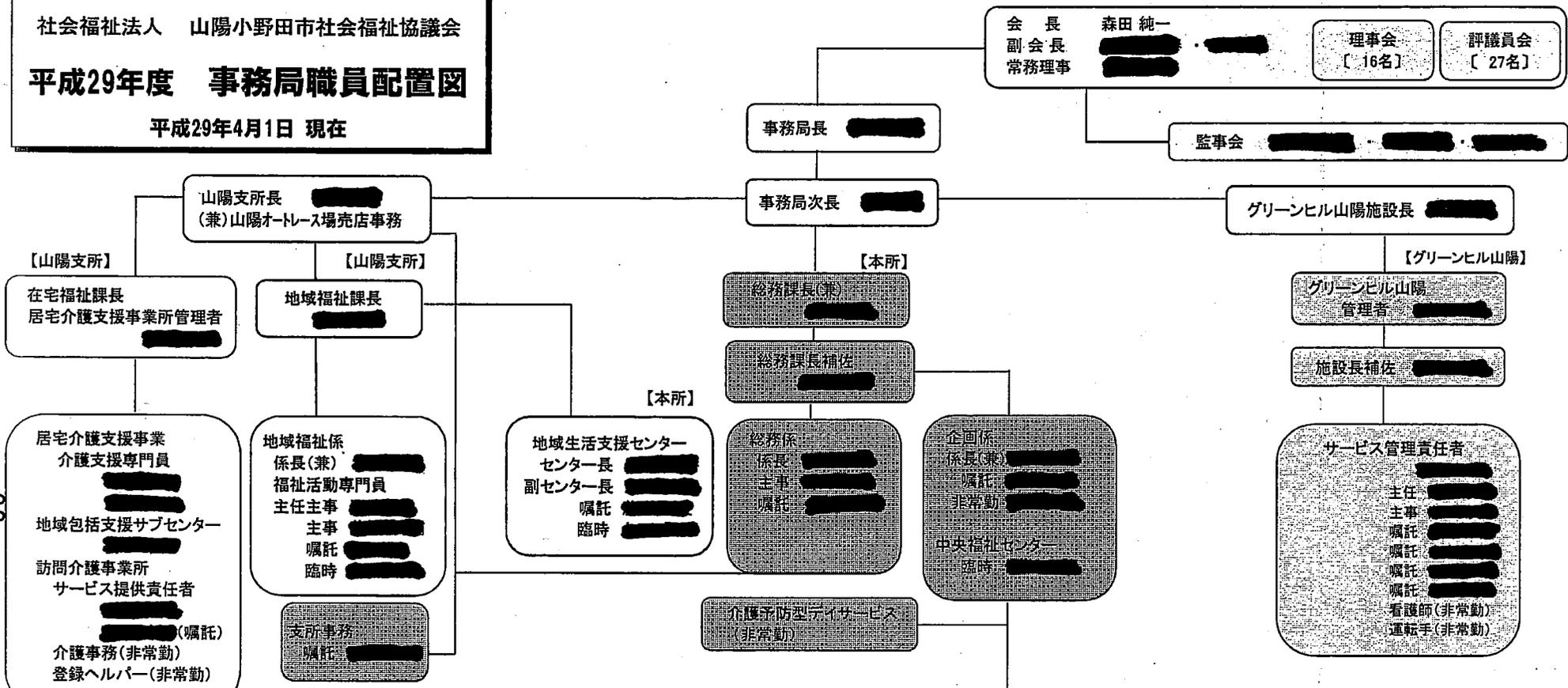
平成29年03月31日現在

法人：社会福祉法人 山陽小野田市社会福祉協議会  
事業：法人全体

(単位：円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	179,705,490	200,481,738	△20,776,248	流動負債	30,732,770	73,796,928	△43,064,158
現金預金	154,819,829	141,636,197	13,183,632	事業未払金	29,024,410	59,448,256	△30,423,846
事業未収金	24,604,530	58,031,372	△33,426,842	その他の未払金	0	4,862,614	△4,862,614
未収金	0	128,292	△128,292	買掛金	796,779	791,799	4,980
貯蔵品	279,131	278,295	836	未払費用	0	7,656,779	△7,656,779
商品・製品	0	0	0	預り金	911,581	1,037,480	△125,899
原材料	0	0	0	仮受金	0	0	0
立替金	2,000	403,474	△401,474				
仮払金	0	4,108	△4,108				
固定資産	464,003,869	518,079,495	△54,075,626	固定負債	113,413,793	152,457,248	△39,043,455
基本財産	127,603,023	145,417,594	△17,814,571	長期運営資金借入金	3,891,000	50,964,000	△47,073,000
土地	25,367,000	37,353,719	△11,986,719	退職給付引当金	109,522,793	101,493,248	8,029,545
建物	100,236,023	106,063,875	△5,827,852	負債の部合計	144,146,563	226,254,176	△82,107,613
定期預金	2,000,000	2,000,000	0				
その他の固定資産	336,400,846	372,661,901	△36,261,055	純資産の部			
建物	2	3,303,897	△3,303,895	基本金	2,000,000	2,000,000	0
機械及び装置	0	215,425	△215,425	基金	150,425,461	197,458,001	△47,032,540
車輛運搬具	4,569,093	1,670,234	2,898,859	福祉事業基金	103,098,096	150,171,096	△47,073,000
器具及び備品	7,703,309	6,635,453	1,067,856	ボランティア積立基金	45,444,195	45,444,195	0
権利	0	3	△3	交通遺児奨学基金	1,883,170	1,842,710	40,460
ソフトウェア	0	242,340	△242,340	国庫補助金等特別積立金	83,191,058	84,580,460	△1,389,402
長期貸付金	945,470	48,041,970	△47,096,500	その他の積立金	70,835,968	66,322,700	4,513,268
退職手当積立基金預け金	38,026,283	37,452,698	573,585	財政調整積立金	33,796,222	33,788,561	7,661
退職給付引当資産	63,305,060	57,801,980	5,503,080	山陽総合福祉センター施設整備積立金	10,129,036	10,126,561	2,475
基金積立資産	150,425,461	150,385,001	40,460	災害援護積立金	1,905,177	1,905,148	29
積立金積立資産	70,835,968	66,322,700	4,513,268	グリーンヒル山陽施設整備積立金	19,003,960	14,001,207	5,002,753
その他の固定資産	590,200	590,200	0	グリーンヒル山陽財政調整積立金	5,500,400	5,500,300	100
				工賃変動積立金	501,173	1,000,923	△499,750
				次期繰越活動増減差額	193,110,309	141,945,896	51,164,413
				(うち当期活動増減差額)	8,604,681	11,852,401	△3,247,720
				純資産の部合計	499,562,796	492,307,057	7,255,739
資産の部合計	643,709,359	718,561,233	△74,851,874	負債及び純資産の部合計	643,709,359	718,561,233	△74,851,874

社会福祉法人 山陽小野田市社会福祉協議会  
**平成29年度 事務局職員配置図**  
 平成29年4月1日 現在



**本所 (中央福祉センター)**  
 総務課 電話 81-0050  
 地域生活支援センター 電話 83-2344

**山陽支所 (山陽総合福祉センター)**  
 地域福祉課 電話 72-1813  
 在宅福祉課 電話 72-3000 (介護計画)  
 電話 72-2845 (訪問介護)

障害福祉サービス事業所「グリーンヒル山陽」 電話 73-2953

**児童館**

- 本山児童館 電話 88-3136
- 高泊児童館 電話 83-6591
- 赤野児童館 電話 88-2491
- 宮千代児童館 電話 83-6970
- 須賀児童館 電話 83-0960
- 有咲児童館 電話 83-7473
- 小野田児童館 電話 84-5321

**児童クラブ (非常勤)**

小野田地区 各児童館に設置  
 (本山児童館、須賀児童館、有咲児童館、有咲児童館)  
 山陽地区 各小学校に設置

# 平成29年度患者数等の動向

山陽小野田市民病院 患者数・経営状況等 月間報告書 (H29. 8月分)

項 目		当 月	累 計 (A)	H29予算額等 (B)	対予算比 A/B
患 者 数	入院1日平均	185.7人	188.8人	185.0人	102.1%
	外来1日平均	404.3人	402.6人	430.0人	93.6%
	入院患者数	5,756人	28,889人	67,525人	42.8%
	外来患者数	8,894人	41,873人	104,920人	39.9%
病 床 稼 働 率		86.4%	87.8%	86.0%	
平 均 在 院 日 数		14.0日	15.0日		
医 業 収 益 (入院収益、外来収益のみ)	入 院	206,722千円	1,029,715千円	2,444,405千円	42.1%
	外 来	82,197千円	397,446千円	1,007,232千円	39.5%
	計 (A)	288,919千円	1,427,161千円	3,451,637千円	41.3%
医 業 費 用	職員給与費	141,660千円	728,583千円	2,171,722千円	33.5%
	材 料 費	68,865千円	330,886千円	742,817千円	44.5%
	経費ほか	56,867千円	266,423千円	661,902千円	40.3%
	減価償却費等	43,460千円	217,298千円	521,515千円	41.7%
	計 (B)	310,852千円	1,543,190千円	4,097,956千円	37.7%
医業(料金)収支比率	(A) / (B)	92.9%	92.5%	84.2%	

※ 患者数は概数であり変更の可能性があります。

# 平成29年度患者数等の動向

山陽小野田市民病院 患者数・経営状況等 月間報告書 (H29.9月分)

項 目		当 月	累 計 (A)	H29予算額等 (B)	対予算比 A/B
患 者 数	入院1日平均	174.5人	186.5人	185.0人	100.8%
	外来1日平均	407.3人	403.4人	430.0人	93.8%
	入院患者数	5,234人	34,123人	67,525人	50.5%
	外来患者数	8,145人	50,018人	104,920人	47.7%
病 床 稼 働 率		81.1%	86.7%	86.0%	
平 均 在 院 日 数		13.6日	14.8日		
医 業 収 益 (入院収益、外来収益のみ)	入 院	204,628千円	1,234,343千円	2,444,405千円	50.5%
	外 来	79,081千円	476,527千円	1,007,232千円	47.3%
	計 (A)	283,709千円	1,710,870千円	3,451,637千円	49.6%
医 業 費 用	職員給与費	161,621千円	890,204千円	2,171,722千円	41.0%
	材 料 費	52,664千円	383,550千円	742,817千円	51.6%
	経費ほか	62,943千円	329,366千円	661,902千円	49.8%
	減価償却費等	43,460千円	260,758千円	521,515千円	50.0%
	計 (B)	320,688千円	1,863,878千円	4,097,956千円	45.5%
医業(料金)収支比率	(A) / (B)	88.5%	91.8%	84.2%	

※ 患者数は概数であり変更の可能性があります。

# 平成29年度患者数等の動向

山陽小野田市民病院 患者数・経営状況等 月間報告書 (H29.10月分)

項 目		当 月	累 計 (A)	H29予算額等 (B)	対予算比 A/B
患 者 数	入院1日平均	169.1人	184.0人	185.0人	99.5%
	外来1日平均	402.7人	403.3人	430.0人	93.8%
	入院患者数	5,243人	39,366人	67,525人	58.3%
	外来患者数	8,456人	58,474人	104,920人	55.7%
病 床 稼 働 率		78.7%	85.6%	86.0%	
平 均 在 院 日 数		13.6日	14.6日		
医 業 収 益 <small>(入院収益、外来収益のみ)</small>	入 院	182,279千円	1,416,622千円	2,444,405千円	58.0%
	外 来	77,472千円	553,999千円	1,007,232千円	55.0%
	計 (A)	259,751千円	1,970,621千円	3,451,637千円	57.1%
医 業 費 用	職員給与費	142,096千円	1,032,300千円	2,171,722千円	47.5%
	材 料 費	53,569千円	437,119千円	742,817千円	58.8%
	経費ほか	56,701千円	386,067千円	661,902千円	58.3%
	減価償却費等	43,460千円	304,217千円	521,515千円	58.3%
	計 (B)	295,826千円	2,159,703千円	4,097,956千円	52.7%
医業(料金)収支比率	(A) / (B)	87.8%	91.2%	84.2%	

※ 患者数は概数であり変更の可能性があります。

平成29年度資金繰表

山陽小野田市病院事業会計

(単位：千円)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
収 入	過年度未収金	242,691	255,648	9,227	11,663	223	144	294						519,890
	医業収益	39,654	57,575	287,019	305,026	311,196	318,954	313,506						1,632,930
	医業外収益	769	1,589	1,662	1,638	1,649	1,786	1,573						10,666
	他会計繰入金		330,454	0	0	0	0	0						330,454
	預り金	28,893	29,405	70,810	29,339	28,587	30,185	29,659						246,878
	企業債		0	0	0	0	0	0						0
	寄附金		0	0	0	0	0	0						0
	その他	761	1,197	1,336	1,208	1,882	1,392	1,629						9,405
	前月繰越金	95,599	76,836	32,451	57,532	83,711	265,660	79,710						691,499
	特別利益			0	0	0	0	0						0
	合計(A)	408,367	752,704	402,505	406,406	427,248	618,121	426,371						3,441,722
支 出	過年度未払金	163,920	2,281	0	0	0	0	0						166,201
	人件費	130,584	136,352	322,739	141,609	141,660	161,621	143,569						1,178,134
	物件費	10,493	148,758	114,024	131,147	135,824	133,034	136,613						809,893
	建設改良費		0	0	2,400	397	720	0						3,517
	支払利息		0	1,157	0	0	28,077	0						29,234
	企業債等償還金		0	0	0	0	185,119	0						185,119
	長期借入金償還金		0	0	0	0	0	0						0
	預り金	25,485	31,099	51,469	46,349	32,449	27,289	34,640						248,780
	その他	941	1,671	4,820	1,190	1,258	2,551	4,443						16,874
	特別損失	108	92	764	0	0	0	1						965
	合計(B)	331,531	320,253	494,973	322,695	311,588	538,411	319,266						2,638,717
差引(A-B)	76,836	432,451	▲ 92,468	83,711	115,660	79,710	107,105							
一 時 借 入	借入額		10,000	150,000		300,000	190,000	190,000						840,000
	返済額		410,000			150,000	190,000	220,000						970,000
	合計(C)		▲ 400,000	150,000	0	150,000	0	▲ 30,000						▲ 130,000
	一時借入金残高	400,000	0	150,000	150,000	300,000	300,000	270,000						
月末残高(A-B+C)	76,836	32,451	57,532	83,711	265,660	79,710	77,105							
月間収支(※)	▲ 18,763	355,615	▲ 124,919	26,179	31,949	▲ 185,950	27,395							

※ 月間収支とは、前月繰越金を除いた純粋な月内の収支をいい、「(A)-(B)-前月繰越金」で算出します。

山陽小野田市民病院経営会議概要 【平成29年9・10・11月開催分】

開催状況	9月5日、9月19日、10月3日、10月17日、11月7日、11月21日
出席者	病院事業管理者、顧問、院長、副院長、診療部長、看護部長、医療技術部長、副看護部長、腎・透析センター長、事務部長、参与、医事課長、総務課長、市健康増進課長
主な協議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各月の病床稼働率の報告と傾向分析による協議</li> <li>・医療材料の共同購買について</li> <li>・特色ある病院運営について</li> <li>・災害発生を想定した施設の改良について</li> </ul>
その他報告事項等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療構想調整会議報告</li> <li>・各月における診療収益の状況について</li> <li>・在宅療養後方支援の状況について</li> </ul>

## 閉会中の継続調査事項について

委員会名	調査事項	調査期間
民生福祉常任委員会	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 国民健康保険及び国民年金に関すること。</li><li>・ 介護保険に関すること。</li><li>・ 在宅介護者支援に関すること。</li><li>・ 保健衛生に関すること。</li><li>・ 保育所に関すること。</li><li>・ 病院経営に関すること。</li><li>・ 地域医療に関すること。</li><li>・ 在宅医療介護連携について。</li><li>・ 人権・男女共同参画に関すること。</li><li>・ 火葬場整備事業に関すること。</li><li>・ 空き家等の適正管理及び利活用について</li><li>・ 子育て支援を中心に結婚や出産をしやすくなる環境整備に関すること。</li></ul>	平成30年3月定例会前日まで継続して閉会中調査する。